

株式会社山陰ディーゼル商事 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年3月18日

株式会社山陰ディーゼル商事
代表取締役 河内 雄次

◆経営方針

停電時や災害時に、地域の安定した予備電力供給を守ります。

◆目指す姿

信頼できる商品、高度な技術力で停電時や災害時に、地域の安定した電力供給を守り、
環境に配慮した取り組みを通じて、脱炭素実現に向けた持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。

SDGsの達成に向けた取り組み

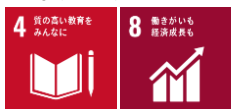
働きがい

社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

<具体的な取り組み>

資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備／社員のキャリア面談の実施／採用後の丁寧な教育指導や、Quality Control活動への参加を通じ、全員参加型の活気ある職場作りを実施

— 関連ゴール —



地元人材の活用

雇用を通じた地域振興のため、地元人材の活用を推進します。

<具体的な取り組み>

U・Iターン人材採用に向けた行政との連携／地域教育機関からのインターンシップの受け入れ

— 関連ゴール —



災害・事故・事業リスクの未然防止

災害や事故等の有事においても、事業を復旧・継続するため、対応し得る万全の準備を行います。

<具体的な取り組み>

食糧・飲料水の備蓄／防災訓練の実施／災害時の非常用発電機稼働への対応

— 関連ゴール —



環境に配慮した取り組み

二酸化炭素排出量の削減取り組みおよびJ-V E Rを活用して自社の二酸化炭素排出量実質ゼロ化を図ります。

<具体的な取り組み>

2022年3月 J-V E R 200t-CO2購入／エコカー導入／SDGsの取り組みのホームページでの情報開示

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

